

第9回理事会 議事録

一般社団法人 尾道青年会議所
2021年度 第9回 理事会議事録

日時:2021年9月6日(月) 19:00～

場所:オンライン開催 (ZOOM)

(出席者)安楽城大作・加度亮平・今岡正英・高橋建太・歌一行・加藤雄大・島田元太・吉田雄太・高升純・内海洋平・森川陵・大池慎三・沼田剛志・島田昌広・岡本大輔・山本恭平・高山敦好・吉田嵩正・岡本正也・小西琢真・中島裕一郎・水野春樹・加藤雅崇

(欠席者) なし

(遅刻) なし

(早退) なし

次第

1. 開会 (歌一行)
2. 点鐘: (安楽城大作)
3. JCI クリッド唱和: (省略)
4. JCI ミッション並びに JCI ビジョン唱和: (省略)
5. JC 宣言文朗読並びに綱領唱和: (省略)
6. 出席者の確認: (加藤雄大)
7. 配付資料の確認: (歌一行)
8. 議事録署名人名並びに議事録作成者の指名: (安楽城大作)
9. 議題の確認: (歌一行)
10. 理事長挨拶: (安楽城大作)

本日は理事会で初の完全オンライン開催となりました。

ご参加頂きありがとうございます。

本日のために、こちらからコロナウイルス対策に関しての見直しをお願いをさせて頂きました。

本日、審議、協議のある方々は委員会の方で色々と話し合ってくれたと聞いております。

本日の理事会でより精査を重ね、良い方向に持って行ければと思っています。

今回「意見書」という形で、各上程に意見をいただいております。

また、今回は会としてイベントを行う際に、こういった形で行うのかを定めた「指針」も作成し、そちらに関しても事前に意見を頂きました。

その中で、「このような状況の中、会としてイベントを行う意義を、理事長から説明して欲しい」という意見もありました。

まずは、そちらに関してお話しさせて頂こうと思います。

第9回理事会 議事録

この時期に集客を伴うイベントを行う意義ですが、順を追って説明させて頂きたいと思います。

所信にも書きましたが、「尾道の方々に喜んで貰う活動を行い、まちに失われた活気を取り戻していく」ということ。

そして「会員数が減っていく中でも、尾道を明るくする団体であり続けたい」ということの、2つの信念を持ち、活動してきました。

それをお願いし、各委員会がそれぞれの所管の中で、活動を行って欲しいと思ってきました。

集客を伴う活動が、手法として一番正しいと考え、上程されるのであれば、それが最大限実現できるように考えていきたいと思います。

コロナウイルス対策を考え、別の手法をとるのであれば、そちらを実現したいと考えていました。

今回の理事会の前に、改めて「コロナウイルス対策」を考えていただくことをお願いしました。

7月末の正副理事会で、11月6日に集客を伴ったイベントを行うという上程が上がってきました。

その際に、私は「コロナウイルス対策」をあまり重要視せずに話を進めました。

その理由としては、大きな2つの理由がありました。

1つめは、委員会として事業を考える際に、コロナウイルス対策という制限を最初から考えてしまうと、「自分が何をやりたくて、誰を喜ばせたいのか」が曖昧になってしまうのではないかと。

自分が本当に必死になれる形にならないのではないかと。

そういう不安がありました。

2つめについてですが、例えば今回の審議上程に上がる11月6日の事業に関してですが、当日、緊急事態宣言が出ている状態では実施することはできません。

しかし、その判断を2ヶ月前の9月6日にしてしまうことは、ある意味無責任であるという風に考えました。

ですので、最終的には11月6日の前に判断を下さざるを得ないであろうと思っておりました。

今回の上程までは、なるべく考えやすい状態で行って頂き、その後、どうやって実行に移せるかを考えたいと思っておりました。

以上、2つの理由からこれまではコロナウイルス対策を議題に挙げることを控えておりました。

そんな中、8月の正副理事会で意見を頂き、私のこれまでのやり方だと、ネガティブな意見に対して目を背けた形で審議を通してしまうことになるのではないかと思い、自分のやり方を変えようと思い直しました。

第9回理事会 議事録

今、JCに対して閉塞感を感じている方も多いと思いますし、私も10年ほど活動してきた、色々やりにくくなったことがあると感じています。

その原因の一つに、他の委員会が事業を行う際に、どういう関わり方をするのかという部分があると思います。

他委員会が行う事業は「他人事」になっている、もっと言えば、委員長だけが頑張っていて、フロアメンバーもどこか「他人事」になっているのではないかと感じました。

そう感じる場面が多くありました。

そういう問題を根本的に解決するためには、これまでのやり方では通用しないということを感じました。

言いにくい意見だったかと思いますが、言って頂いて良かったと思っています。

それを受けて、11月6日の事業の審議に向けて、「理事全体でコロナウイルス対策について考えたい」と思い、各委員会内での話し合いをお願いしました。

みんなが納得するようであれば、審議を通らない。

そのことを皆が認識し、審議のために、委員会で真剣に話し合うことで、「他人事が自分事になる」。

そのことが根本的な問題解決に繋がると考えています。

今回集客を伴う審議上程をして頂きますが、基準はあらかじめ作成し、共有しております。

状況次第では、開催が難しくなるかもしれません。

しかし、必至になって実現に向け話し合い、知恵を出し合うことは、委員長の皆様にとっても、今後のJCにとっても有益であると思います。

方向性は多少変わる部分がありますが、これまでやってきたことに関しては、無駄ではなかったと思っています。

引き続き、ご協力の程よろしく願いいたします。

本日の理事会で、納得のいかないことがあれば、とことんまで話し合ってくださいと思います。

理事会というのは最終決定の場所だと思っていますので、話し合いの結果否決という結果になっても構いません。

理事メンバーの皆様にはそのような自覚を持って頂き、とことんまで話し合ったことを自信を持って委員会メンバーに持ち帰って欲しいと思います。

本日の理事会もどうぞよろしくお願いいたします。

11.直前理事長挨拶（加度亮平）

皆様お疲れ様です。

今回の理事会がオンライン開催となり、設営をして頂いた事務局の皆様はお疲れ様でした。

第9回理事会 議事録

すでに皆様が認識しているように、これから事業が目白押しですが、新型コロナウイルスの影響により、開催時期を含め色々な意見が出ているかと存じます。

安楽城理事長は今年ずっと、事業をするべきなのか否かで頭を悩まされてきたことと思います。

先ほどのお話でその苦勞が皆様にも垣間見えたのではないかと思います、ただ単に事業を辞めるということはそんなに難しいことではありません。

皆さんのお金と時間を資源に活動している会として、「まちを明るくする」ということと「会員の成長」に繋がらないことは、良い活動とは言えません。

理事メンバーの皆様には活動の責任がありますし、安楽城理事長には最終的な責任が大きいのしかかってきます。

コロナウイルスの感染リスクと、会員の成長の機会という、相反する2つの絶妙なバランスを取っていくことは、かなり困難なことであると感じます。

感染リスクが0で、街にもインパクトを与えられ、メンバーの成長にも繋がる、そんな理想的な事業を構築することが沢山できれば、このような議論にはならないかと思いますが、そうした事業は簡単にできるものではありませんし、事業の構築は大小様々な問題が生じるのだということは、皆さんに認識をしていて欲しいと思います。

そうした問題に立ち向かっていくことが、今まさにやらないといけないことであると思いますし、安楽城理事長が求められていることだと思います。

様々なことに気を遣いながら物事を進めていかなければなりません。

そのときに一番重要なのは、リーダーが「やる」と言えば、その実現に向かい、知恵を振り絞り、一丸となって進む姿勢であり、それが理事メンバーの役目であると感じます。

安楽城理事長は、前例がないようなことでも柔軟に対応してくれると思いますので、我々は安楽城理事長が掲げた目標に一丸となって進んでいくべきであると思います。

こういうときに懸命に頑張ることで、自身の成長にも繋がり、仲間との絆も生まれてくると思います。

今年のテーマは「粋」であり、そのテーマにも合致すると思いますので、今一度私達の考え方を同じ方向に向けることを意識して欲しいと思います。

最後に、今週末に広島ブロック大会が今週末に開催されます。

緊急事態宣言下の中での開催となり、大きなご心配やご迷惑をおかけしますが、尾道青年会議所の皆さんには全員登録して頂き、大変感謝しております。

この場を借りて御礼申し上げます。

本日の理事会が、尾道青年会議所の更なる発展の一助となることを祈念して挨拶いたします。

12. 理事長報告：（安楽城大作）

割愛。

13. 委員会報告：

割愛

14. 審議事項：（安楽城大作）

事前に意見書を頂きました。

第1号議案 仮入会審査に関する件

（吉田嵩正）

資料読み上げ（1-1, 1-2）

（高升純）

事前にメールにて資料配信しておりますので、吉田委員長よりそちらに関しても発表お願いいたします。

（吉田嵩正）

事前に12理事の皆様より、審査内容を監事のお二人にお伝え頂いております。今岡監事より、仮入会審査の結果を発表いただきます。

（今岡正英）

皆様、満場一致で7名の仮入会の方への承認をご報告いたします。

（安楽城大作）

質問等無いようですので、議案を閉じさせていただきます。

第2号議案 9月例会 事業計画（案）予算（案）に関する件

（大池慎三）

資料読み上げ（2-1, 2-2, 2-3）

資料参照（2-5）

資料費の219円を削除しました。

事業予備費支出が43,000円となっております。

資料参照（2-20, 2-21）

案内文にも、通常開催が難しい場合を追記しておりますのでご一読下さい。

第9回理事会 議事録

資料読み上げ（2-35、2-36）

通常開催が難しい場合について。

以上、慎重なる審議をお願いいたします。

（吉田嵩正）

仮入会員と拡大研修委員会の席を同じにいただけますか。

（大池慎三）

そのようにさせていただきます。

（小西琢真）

9日にZOOM開催とする基準をお教え下さい。

また、9日に通常例会の判断後に緊急事態宣言の延長が決まった場合などはどうするのでしょうか。

（大池慎三）

1週間前には、16日時点で緊急事態宣言が出ているかどうかかわかると考え、ZOOMに切り替えることを想定した際に、準備期間として7日間欲しいと思い、9日と設定いたしました。

9日の判断後に、緊急事態宣言が伸びた場合はZOOM開催とします。

（安楽城大作）

判断基準をより明確にしたほうが良いのではないのでしょうか。

（大池慎三）

基本的には、今の状況下では、ZOOM開催をしたいと考えております。

（島田元太）

12日に緊急事態宣言が解除されますが、全員で集まるのは如何なものかという考えもあります。

その時点での状況を見ながら、「緊急事態宣言が解除されていれば集まる」と言うことではなく、9日に事務局と相談しながら決められればと思います。

（安楽城大作）

第9回理事会 議事録

状況を鑑みて、おそらく ZOOM 開催となる可能性が高いと思いますので、そういう前提で審議頂きたいと思います。
よろしく願いいたします。

(内海洋平)

携帯を利用してマイタイムラインを作成するため、オンライン配信の際は操作端末と ZOOM 用の端末を用意した方が良いと思います。

(大池慎三)

そのように対応いたします。

(高山敦好)

マイタイムラインの作成、発表について、ズームの場合省くという事になるようですが、アンケートとの整合性や、この度の例会の効果は大丈夫でしょうか。

(大池慎三)

整合性を考え、アンケートの2と3の削除をお願いします。

(高山敦好)

マイタイムラインは作成しないが、説明はあるのでしょうか。
なるべく例会内で作成できれば学びの場となると思います。

(大池慎三)

講師の方からも作成は無しでも、説明だけでも大丈夫ではないかと言われており、その方向で考えています。

(高山敦好)

私自身も作成したいと考えているので、わかりやすい説明をお願いいたします。

*全会一致で承認。

第3号議案 仮入会員研修の調査・研究・実践 事業計画(案)予算(案)に関する件
(吉田嵩正)

資料読み上げ(3-1, 3-2, 3-3)

予算について「収支計算明細書(3-4)」をご覧ください。

第9回理事会 議事録

変更点としては、ZOOM仕様に予算も変わっております。
資料作成人、CD-R作成費がなくなり、会場費のみとなっております。

資料参照（3-11）

会場図も、尾道商工会議所の2階会議室に変更となっております。

以上、慎重なる審議をお願いします。

（山本恭平）

幹事の役割説明に関して、様々な経験をされた中司委員が適任とは思いますが、現役幹事に役割説明を行ってもらうことは可能でしょうか。

中司委員が幹事をしていた当時と現在とでは幹事のあり方も異なってきていると思います。

現役幹事が入会から現在に至るまでの振り返りをする機会を持つことも重要であり、来年度の新入会員のサポートをしていく身近な存在として、自身の役割を再度認識することも大切だと思います。

役割説明を現役幹事から行っていただくことが可能であれば一考いただければと思います。

（吉田嵩正）

幹事の役割を説明するだけの場合は、現在の幹事で良いと思います。

しかし、私的には理事を経験した中司さんより、1年目の幹事を頑張る重要性も含めて説明していただきたいと考えています。

（山本恭平）

決定された理由はよくわかりました。

何か別の機会でも、幹事の方が前に出られるような機会があれば是非ご検討下さい。

（内海洋平）

私も似たような意見で、若い方が経験を積むことができる場がもっとあれば良いのではないかと考えています。

例えば、中司さんと若手が練った上でこの場に出ることも可能ではないかと感じました。

（吉田嵩正）

出ていただける場面では、若手に出てほしいと思っています。

但し、幹事の説明に関しては、先ほど申し上げたような考えで選定しております。

今後別の形で、若い方に前に立てるような機会を作りたいと思います。

(森川陵)

ZOOM 仕様が不慣れな仮入会員もいることを想定して、ZOOM への接続方法と、一般的な使用方法（マイクはミュート・ビデオは ON 等）をまとめた資料を、案内時に流すことをお勧め致します。意見になります。

(吉田嵩正)

資料を使い、仮入会員に説明いたします。

ZOOM の使い方に問題ないか、個別に確認もしたいと思います。

(内海洋平)

リアルでの開催想定から、ZOOM での開催となり、工夫した点はありますでしょうか。

(吉田嵩正)

ZOOM に変更しましたが、より実際に近い形で行えるように工夫しました。

会場の変更も検討しましたが、より近い形を考えた際に、商工会議所 2 階の会議室が良いだろうという話になりました。

そういった点を注意し、設営を行います。

(高山敦好)

尾道青年会議所の活動を加度亮平君・高山敦好君・中司昌克君にお話しをとありますが、講演形式でしょうか、PR 資料も使いますでしょうか。

(吉田嵩正)

どのような形でも対応できるようにしたいと思います。

(高山敦好)

昨年作成した、花火事業の動画も利用できればと思います。ご協力のほどよろしく願いいたします。

(吉田嵩正)

動画をパワーポイントに差し込みたいと思います。

その他資料があれば、頂ければと思います。

*全会一致で承認。

第4号議案 災害に強いまちづくり事業 調査・研究・実践 事業計画（案）予算（案）に関する件

（安楽城大作）

ここから集客を伴う事業に関しての上程が続きます。

その際の基準を事務局で作成しましたので、まずは説明のほうを歌専務からしていただきます。

（歌一行）

8月末の正副理事会で頂いた意見を踏まえ、対外事業を行う際の基準を事務局で作成いたしました。

会員全員が共通の認識を持ち、来場される方やOB会員や外部協力者の方々にご対応いただければと思います。

皆様には事前に資料をお送りしておりますが、県の方針や、カーブ観戦のルールなどを参考にして、作成しております。

本日、こちらで話し合い、11月6日の事業が審議可決されれば、微調整を加えたうえでHPにてこちらを掲載したいと思っております。

尾道青年会議所はこのような形で感染対策に取り組むという宣言であり、来場される方々には、ルールについてご理解いただき、安心して安全な状態でご来場いただくお願いになります。

当青年会議所の活動に活かせるようにアレンジして作成しております。

皆様の意見を踏まえて、ブラッシュアップした形でHPに掲載したいと思っておりますのでご意見を願います。

最後に、県のイベント開催についての資料を載せております。

重要になるのは、平時と比べ2分の1の収容人数とし、最大で5,000人までということが数字として出ておりますので、そちらは守っていただきたいと思っております。

そして検温等の感染防止対策ができているか、来場される方の情報を管理できているか、後追いで連絡きるシステムが構築できているかも重要になります。

これらの内容を踏まえて、審議をしていただければと思います。

説明は以上になります。よろしく願いいたします。

（安楽城大作）

委員会がベストだと思う形を、実現するために必至になって、模索していくことが成長に繋がると考えています。

第9回理事会 議事録

この理事会は模索する場所であると思いますので、こちらの資料も参考にいただき、大いに模索していただきたいと思います。

そして審議が通った際には、一丸となってサポートしてほしいと思います。

また、まん延防止と、緊急事態宣言の違いがわからないという意見も頂きました。

その点に関しては、各委員会で検討していただきましたので、その意見を尊重したいと思います。

会としては、「緊急事態宣言下にある場合」「外部協力者から中止の要請があった場合」「会員から感染者が出て、開催に影響があると判断できる場合」は会として、開催を中止、もしくは延期したいと思います。

何かご意見、ご質問有る方はおられないでしょうか。

(小西琢真)

委員会から不安な声が出たので、今回それらをお伝えさせていただきました。

メンバーにもこのようにしっかりと対策を行うことを伝えたいと思います。

メンバーからも審議可決すれば、全力で協力したいということなので、サポートしたいと思います。

(安楽城大作)

こちら学びの場となりましたので、色々ご意見頂きたいと思います。

(歌一行)

こちらは、審議可決後にすぐに発表するわけではなく、微調整を加えた上で、その時々
の状況を踏まえて掲載します。

皆様のご意見があれば引き続き頂ければと思いますのでよろしくお願いいたします。

(安楽城大作)

それでは、これらの基準も踏まえて審議上程していただければと思います。

(大池慎三)

資料読み上げ(4-1, 4-2, 4-3, 4-4)

資料参照(4-6)

予算についてですが、収支予算明細書にてご説明いたします。

変更点ですが、

企画演出費支出のグリーンシートが7,040円に。

会場設当日として人件費で27,500円。

第9回理事会 議事録

企画演出費として、手袋が2, 190円、マスク子供が550円、マスク大人が770円。

企画演出費の全体として、計179, 400円と変更になっております。

また、資料作成費クイズ問題が21円、広島コロナQRコードが15円。

資料作成費の全体日として、計20, 436円となっております。

最後に、当日の受付の対策用紙として150円を計上しております。

事業概要読み上げ（4-7~4-12）

図面についてですが、赤いところが進入禁止エリアになります。

また、「台風体験」の送風機ですが、当初はダンジョン内に設置予定でしたが、ダンジョン外に変更しております。

安全な範囲で、この場所で台風体験をさせていただこうと思います。

チラシについては、本日メールでお送りした物が正しい物となります。

参加人数の変更、当日参加の方も住所等の情報お願い、コロナ対策の順守、QRコードに諸々の注意事項などを追加しております。

中止案読み上げ（4-71）

事業中止となった場合ですが、市内小学生を対象に「過去起きた災害を元に、なぜ起こってしまったのか、そして命を守る行動を学べる動画」を作成します。

防災意識を向上させ、今後起こりうる災害から命を守る一助となればと考えます。

危険区域が特に多い学校については、学校側と相談し再度注意喚起ができるようにします。

実施日時は、事業中止から2週間以内の発想を予定しております。

教育委員会から資料を配布していただき、QRコードのリンク先からダウンロードしてもらいます。

入場時のルール読み上げ（4-68~4-70）

当日参加される方に配布する資料も作成しております。

ここにあるルールを守ってもらえない場合は入場不可とします。

その他資料はご一読ください。

以上、慎重なる審議をお願いします。

（安楽城大作）

開催の流れに関して、再度ご説明下さい。

(大池慎三)

10月23日をめどに、「緊急事態宣言」「まん延防止」「外部協力者からの開催中止の要請」があれば中止いたします。

(安楽城大作)

案内についてはどのような形で流すのでしょうか。

(大池慎三)

案内は9月末から10月上旬に、コロナウイルスの状況を見て出したいと思います。

(島田元太)

緊急事態宣言が出されている場合は、チラシの配布を行いません。

中止の判断基準に関しては、先ほど理事長がおっしゃられた条件にあてはまる場合には中止いたします。

10月23日までには中止の判断を下します。

(山本恭平)

出題クイズの内容について、問題⑥は設問からすると3択になるのでは？

高齢者等避難を選択肢に組み込むか、設問から除く必要があります。

(大池慎三)

高齢者避難を設問から削除します。

(山本恭平)

ダンジョン周辺のトラロープに関して、部分的にウッドデッキを使用するのであれば、通行できない旨を伝える誘導係が必要になると想定されますので、人員の追加検討をお願い致します。

(大池慎三)

人員の追加をいたします。

(山本恭平)

事業概要の【出題クイズ内容】が7つ記載されていませんので修正が必要です。

第9回理事会 議事録

(大池慎三)

最後の問題は、「⑩のダンジョンの問題に記載しております」という形にし、ダンジョンに誘導したいと思います。

(吉田嵩正)

緑地帯に巨大迷路が現れて、たくさん見物人が集まることもあると思います。人だかりができて、周囲から苦情が来ないように気をつけて下さい。

(大池慎三)

人だかりがでないように、外周警備のメンバーを増やし、注意喚起を行いたいと思います。

(小西琢真)

コロナが出た場合に追跡できるように名簿等を作っておくと良いのではないのでしょうか。

(大池慎三)

事前予約の際に個人情報を集めますので、追跡可能です。
また、当日の受付でもきちんと管理したいと思います。

(内海洋平)

早急にかつフレキシブルに対応できるよう、チラシに委員長の携帯・メールを入れておく方が良いと思います。

(大池慎三)

QRコードのリンク先に私の問い合わせ先を記載しておりますので、問題ないと考えております。

(安楽城大作)

事務局にも問い合わせがあると思いますので、想定ができそうな質問に関しては、事務局と共有しておいてください。

(高山敦好)

アンケート用紙の枚数についてどのように考えているかお聞かせ下さい。

(大池慎三)

予算のほうが間違えております。3円×3枚×150組の間違いです。

第9回理事会 議事録

結果として支出予算がトータル450円上がりますので、予備費支出が5,784円となります。

訂正お願いいたします。

(高山敦好)

アンケートは1人1枚ではなく、1組に1枚でしょうか。

受け取り時に混み合う可能性もありますので、イメージを共有できればと思います。

(大池慎三)

アンケート受け取り時には混み合わないよう、2mの間隔を守り、渡したいと思います。

(高山敦好)

スタートとゴールのところにテントは設置予定とのことですが、雨天時のことも考え、その方が良いと思います。

これは意見です。

また、集客方法についてですが、チラシは小学生だけの配布でしょうか？

小学生に配ると残りが1000部弱になると思います。

150組の来場の目的を達成するためのイメージをお聞かせください。

(大池慎三)

チラシが素晴らしい物になりましたので、多く印刷しております。

集客に関しては達成できるのではないかと考えております。

(高山敦好)

個人的にはもっと枚数を配っても良いかと思いました。

効果的などころにしっかり配って欲しいと思います。

また、シミュレーションは委員会メンバーでされましたでしょうか。

(大池慎三)

みろくの里で似たような施設があるので、そこで子どもと一緒にタイムを計り、シミュレーションを行いました。

また、前日に施設が完成した際はテストも行います。

(高山敦好)

第9回理事会 議事録

前日ではなく事前にメンバーと一緒に現場に行って、想像しながらシミュレーションを行ったほうが、足りない物も見えてくるかと思います。

その方が準備もしっかりでき、当日の運営がスムーズかと思います。

(大池慎三)

必ず実施いたします。

*全会一致で承認。

第5号議案 次代に繋がる組織作り事業 調査・研究・実践 事業計画(案) 予算(案) に関する件

(山本恭平)

資料読み上げ(5-1, 5-2)

収支予算明細書説明(5-5)

変更点のみご説明いたします。

設営費支出として「芝生養生費が43,500円」を新たに計上しております。

また、保険費支出として100,000円を新たに計上しております。

また、前は音響費支出として300,000円を計上しておりましたが、会場に確認したところ必要ないということで削除しております。

その他の変更点ですが、まずイリュージョンショーについての名前についてのご指摘もいただきました。

「花火打ち上げ」のイメージにより近いのではないかということで、

「2525イリュージョンショー」から「2525サプライズショー」と変更いたします。

また、協賛についてですが、以前は135口という上限を設けておりましたが、上限を無くしております。

但し、イベントの入場者数は変更しておりません。こちらに関しては先着順としております。

また、イベントの開場時間が17:00→17:30にしております。

待ち時間の2時間が長いという意見があり、変更しました。

それに伴い、入場のタイムスケジュール変更し、案内も変更しておりますので、ご確認お願い致します。

以上、慎重なる審議をお願いします。

(大池慎三)

これは、エールです。コロナの影響で事業することが批判等ありますが最善を尽くし共に頑張らしましょう。

(吉田嵩正)

メンバーが写真を収集する時は自分のアカウントから投稿していけばいいのでしょうか？

(山本恭平)

基本的には、ご家族やご自身に関してはご自身のアカウントを使って頂いて構いません。知人や友人に関しては、チラシを使用して、ご本人のアカウントから投稿をお願いできればと思います。

(吉田嵩正)

5－80の資料で拡大研修委員会9名が緑と紫の二カ所あります。

(山本恭平)

こちらは誤記載になります。

紫が拡大研修委員会、緑が社会開発委員会で想定しておりますので、修正をお願いします。

(吉田嵩正)

分散入場で待ち時間が長い人だと2時間あります。必要以上に歩き回ったりしないような対策はありますか？

(山本恭平)

受付時に、なるべく車内で待って貰うようにアナウンスしたいと思います。

半券をもっていけば自由に会場に入って頂けるように伝えます。

その旨を、駐車場整理券に注意書きをし、当選者の案内文にも記載して対応しております。

(吉田嵩正)

コロナ禍での1000人規模の集客で、不安な声も多く上がっています。そういったメンバーに伝えたい山本委員長の意気込みなどありますか？

第9回理事会 議事録

(山本恭平)

今回のイベント実施に当たり、最大870名の収容を予定しております。
屋外会場での開催になること、収容人数の2分の1の動員、時間差での受付、検温、消毒等を実施し密が避けられるように計画しております。
県の対策に準じた開催になりますので、できるだけ安心してご参加頂きたいと思います。
私の思いですが、現役会員全員の協力がないと成功させることができません。
尾道の人たち、こういう不安な状況でも、少しでも笑顔を届け、前を向いてもらえるように一助になりたいという思いです。
ご協力頂ければ大変助かります。

(吉田嵩正)

委員会メンバーにも山本委員長の思いを共有します。
私も自分事として参加し、協力したいと思います。応援しております。

(小西琢真)

緊急事態宣言等とありますが、まん延防止や早期集中対策の場合、サプライズショーはどうかなるのでしょうか？
また、備後運動公園のかたから、エールの声を頂いたということを知りました。
是非こちらでそちらに関しても共有いただければと思います。

(山本恭平)

9月30日時点で何か発令された、されている場合は、無観客での実施をいたします。
9月30日発令されていない場合は、有観客での開催を考えております。
但し、実施日が近づいて発令された場合や、尾道市の状況が悪化した場合は無観客での実施に切り替えます。
また、備後運動公園エールを頂いた件ですが、管理責任者の方から「町を元気にして欲しい」という強い気持ちがあるということでした。
そのために備後運動公園を是非とも活用して欲しい、と言う声を頂きました。

(森川陵)

受付時間表(資料5-56)を見る限り、整理番号ごとで30分おきに来場して頂く事を想定しているようですが、その通りにきてくれる保証もない。
その際でも、駐車場にスムーズに駐車でき、会場入りがスムーズに行くことは可能か？その点を配慮頂きたい。

(山本恭平)

第9回理事会 議事録

まず30分置きの入場を、20分置きの入場に変更しております。

できるだけスムーズな運営を行うために、当選者への案内文に「できるだけ時間通りの来場のお願い」を記載します。

また、駐車場整理券を車のダッシュボードにおいていただくことで、誘導する側の人員も一目でイベント参加者だとわかるようにすることで、遠隔な誘導ができるようにしております。

一番ネックになる部分は、備後運動公園に入場する入り口部分に関してです。

なかなか現役メンバーだけでは、対処しきれないことが予想されますので、専門の警備会社の方を2名入り口に配置しております。

また、受付にも人を増やし、密にならないようにしたいと思います。

これらの対策を行うことで、来場いただいた方の円滑な入場と運営を目指します。

(内海洋平)

フォト収集のため、JCのSNS等でメンバーによるイメージをUPして収集を促進してみては？

(山本恭平)

今頂いた意見に関しては、前向きに検討したいと思います。

また、今回の事業の宣伝は主にJCのHPにて告知をしたいと思います。

HPのURLを使って、尾道JCのSNSはもちろん、皆様の個人のSNSでも告知をお願いできればと存じます。

ご協力の御願いばかりで申し訳ないのですが、協賛や宣伝のためにできる限り動いております。

協賛と、写真収集に全力で取り組みますので、皆様のご協力の程よろしく願います。

(中島裕一郎)

委員長に質問というよりは、会としてフロアメンバーに事業をする意味や、事業を行うことで何を得られるのかを、例会や合同委員会が行えない中、フロアメンバーにどうやって伝えるのかを考え、一丸となって事業をやっていきたいと思います。

また、今回作成していただいた指針に関してですが、「会員内で感染者が出た場合」について、どう対応するのか気になっていましたので、そこが記載されており良かったと思っています。

今は、音楽フェスが批判を受けていたり、世間の厳しい目があり、他団体の目もあります。

第9回理事会 議事録

「尾道青年会議所がなぜ事業を行ったのか」「事業で感染者が出た場合はどのように対応するのか」そういった点をしっかりとクリアにできるような内容でしたので、これをフロアメンバーに伝えるのは我々の役目だと感じています。

(安楽城大作)

今回作成した指針に関して、そういう風に受け取ってもらえて良かったと思います。フロアに落とし込んでいく事な重要ですし、その際に、何か気になることがあれば、私に直接連絡を頂ければと思います。

*全会一致で承認。

第6号議案 次世代育成事業の調査・研究・実践 事業計画(案) 予算(案)に関する件
(島田昌広)

資料読み上げ(6-1, 6-2, 6-3)

収支予算明細書説明(6-5)

変更点のみご説明いたします。

まず「尾道バス貸し切り」が60,500円→57,200円に変更されております。

当初は「尾道駅に集合・解散」でしたが、「尾道駅に集合・尾道東公園にて解散」と変更になったため、金額に差異が生じております。

また、当日写真を撮って現像し、郵送するための「現像代」「切手代」「封筒代」が追加されております。

また、その下の「コルクボード」「メッセージカード」「画鋏」「シール」ですが、時間の関係で資料6-26のような形で企業様へメッセージを書いていただくように変更した関係で、予算に変更が生じております。

また、チラシに関しても対象者が「小学校4年生～6年生」に変更になったため、枚数が半減し、金額にも差異が生じております。

けっかとして、事業予備費支出として156,320円となっております。

事業内容に変更はありませんが、「尾道東公園」を「東尾道公園」と記載しておりましたので、変更しております。

また、プレスリリースと会員案内についてですが、合同事業となりましたので、変更しております。

ご確認お願い致します。

第9回理事会 議事録

最後に、本事業の中止の判断についてですが、10月23日までに「緊急事態宣言」「まん延防止対策」等が出ている場合は中止といたします。

また、ご協力いただく企業様より要請があった場合も中止といたします。

また、教育委員会より各小学校にチラシを配布していただきますが、チラシの配布に対して苦情等が多く出た場合は、中止の判断基準の1つとして考慮したいと思っております。

以上、慎重なる審議をお願いします。

(大池慎三)

質疑応答の時にコロナ対策等をしたほうがいいと思いますが、事務局にフェイスシールドがあったと思うのでどうぞお使いください。

マウスシールドなら10個程度は持っていきますので、必要なら言ってください。

(小西琢真)

自分の子供を知らない子供たちと同じバスに乗せるのに抵抗を感じる親御さんもいると思います。当日の感染対策をしっかりとお願いします。

(島田昌広)

イベントの参加が、別の保護者に伝わるとあまり良くないというのは職業柄よくわかりますので、配慮して準備いたします。

また、参加していただいた場合でも「きちんと感染対策していた」とはっきり言えるように準備したいと思います。

(内海洋平)

尾道造船さままでの昼食時ですが、コロナ禍状況で会話等ないと思われませんが、食べている間にも何か学びとなることなどあれば良いかと思えます。

やすもと様のお弁当を食べるなら、その過程などを伝える、などがあるかと思えますが、いかがでしょうか。

(島田昌広)

昼食時に何か有用なことができないかというのは委員会内でも話しました。

バス内でも、企業訪問時も話を聞くので、そういう時間が多いので、昼食時はリラックスしてもらいたいと思います。

食事の際は感染リスクもあるので、基本的には会話をせずに過ごしてもらおうと思えます。

第9回理事会 議事録

啓文社さんでは、体験時間もあるので、そこでコミュニケーションもとって貰いたいと思います。

(高山敦好)

参加人数が30名と少数なことから、費用対効果について対策を講じられていると思います。

その分当日キャンセルが出た場合には大変もったいなく思います。

多くの方が応募され、先着順で選ばれるので、責任をもって参観してもらう喚起が必要と感じますが、その対策（キャンセル待ち）や、心づもりを教えてください。

(島田昌広)

キャンセルをし忘れる方もいるかと思しますので、事業当日の3日前に、30名のご家庭全てに連絡をいたします。

その際に、キャンセルが出た場合は、申し込みが早かった方順に連絡し、30名を確保したいと思います。

(高山敦好)

先着順で倍率が高く、がっかりする子どもさんが多くなる可能性があります。

丁寧な対応が必要かと思いますが、募集が終わった、その後の対応を教えてください。

(島田昌広)

メールでただ落選を伝えるのではなく、参加意欲を持ってもらったことに関する感謝を伝えたり、今後の尾道青年会議所の事業にも参加してほしいと伝えるなど、誠意を持った返事をしたいと思います。

キャンセルが出た場合は速やかに対応し、キャンセル待ちの人に気持ちよく参加していただけるようにしたいと思います。

(高山敦好)

この事業によって、1人でも多く、将来尾道で働く子供が増えることを祈っています。頑張ってください。

(安楽城大作)

中止の判断について伺いましたが、その判断も各企業様ともしっかりと打ち合わせをお願いします。

また、意見ですが、参加された30名の様子を動画で残して、Youtubeなどで配信すれば企業のPRにもなるのではないかと思います。

ご検討下さい。

*全会一致で承認。

15. 協議事項：（安楽城大作）

第1号議案 10月例会 事業計画（案）予算（案）について
（内海洋平）

資料読み上げ（7-1, 7-2）

資料参照（7-4）

予算に関しては、収支予算明細書（案）をご覧ください。

事業費繰入収入が60,000円。

事業費支出が、看板代として7,000円。

謝礼金が交通費込みで50,000円。

資料費支出が195円。

事業予備費支出が2,805円で、合計60,000円で計上しております。

資料参照（7-5、7-6）

事業概要、講師プロフィール読み上げ。

資料参照（7-7）

タイムスケジュール説明。

中尾氏との対談を24分間用意しており、そちらで未来ビジョン委員会の思いをお伝えしたいと考えております

我々が行ってきた活動は「種まき」であると考えており、地域づくりのきっかけを作れたと思います。

種を受け取った方が何かの活動を行うことを意識して、地域のため、次世代のために活動してきたという思いがあります。

昨年、沼田委員長の委員会では、バルーンリリースを実施されましたが、栗原小学校の卒業式でもバルーンリリースが行われました。

このような事例のように、我々は「繋がっていく」ということを意識して活動してきました。

自分たちが行ったことが、何かに繋がっていくことが我々の理想ですので、そういうことを中尾氏にぶつけながら対談をおこなってまいります。

その対談の中で、今後の青年会議所の活動に繋がるような何かが出てくればと思っています。

対談は中尾氏と内海で行います。

以上、慎重なる協議をよろしくお願いいたします。

(島田元太)

対談の部分に関して、もう少し詳しく説明をお願いします。

(内海洋平)

これまで未来ビジョン委員会がやってきたことを伝える最後の場所になるかと思しますので、そういうことを中尾氏と話し合い、講演の内容に加えて、プラスになるような事を引き出せればと思います。

(山本恭平)

地域活性に繋がる活動の為に意識を高めることが目的となっていますが、時代に適した活動意識の向上や活動に対しての行動意欲を向上させる等、この例会を終えてメンバーの意識にどのような変化を期待されていますか。

(内海洋平)

地域に必要な活動を行っているという点では、講師も我々青年会議所も同じだと考えています。

その中で、地域に根付いて課題を楽しみながら取り組む姿勢や、「まちづくり＝土づくり」という部分の基礎について伺いたいと思います。

そのことで、未来ビジョン委員会の「種まき」という点や、繋がっていくことをより意識して欲しいと考えています。

(島田昌広)

資料7-5に「日頃から地域の「生活」「課題」に寄り添った彼女にしかできない考え」とありますが、内海委員長が講師の活動でもっとも感銘を受けた取り組みがあれば教えてください。またそういった話を聞いて、尾道でも実践は可能でしょうか？

(内海洋平)

内海町に来て間もない頃、カフェで色々な人とコミュニケーションを行う中で、顧客の方と接点がないことを悩まれている漁師の方がおられたそうです。

そこで色々と話を聞く中で、仲間を増やし外部の協力を得て、イベントを開催されました。

「漁師と消費者のコミュニティーを作ること」という目的で、一見派手なイベントを行ったとみられがちですが、地域の日々の積み重ねで形成されたものですので、そういった考え方や取り組みは素晴らしいと感じます。

尾道でも様々な課題があると思いますので、そういう事例を参考にして実践できることはあると思います。

(島田昌広)

アンケート(資料7-12)についてですが、2・3・4の回答はすべて同じようなものになってしまう可能性があります。

もう少し的を絞って回答者が答えやすい質問にすべきかと思います。

また、アンケートの3の質問に「コロナ」という文言が出てきますが、鑑の背景・目的には「コロナ」については言及されておりません。背景・目的と「コロナ」のつながりを教えてください。

(内海洋平)

頂いたご指摘は、どちらも持ち帰り、委員会内で検討したいと思います。

(高山敦好)

目的の文章が分かりにくいです。

会員がどうなってほしいのか、端的にまとめてほしいです。

どんな考え方も、誰とでもいいから、活動をしていけば、地域が活性化するという事ですか？

(内海洋平)

わかりにくい部分に関しては、再度考えたいと思います。

活動しなければ地域は活性化しないと考えており、こういう表現になりましたが、もう少しわかりやすい物にしたいと思います。

(高山敦好)

個人的には、どういう活動でも行えば良いかというクエスチョンがきます。

どういう風なコミュニティーを持って活動すればよいのかを、より具体的に深掘してほしいと思います。

講師の中尾様について、社会的に評価される数値、成果、結果があれば教えて下さい。

フォロワーや、観客動員、人口増加など。

人口低減に成功している自治体はあまりないと聞いています。
結果を示してくれることで、学びに深みが増します。
逆に結果があいまいな場合、ただの座談会になると思います。

(内海洋平)

わかりやすい取り組みなのですが、2019年から行っている「内海フィッシャーマンズフェス」という活動がございます。
コロナウイルスの影響で、リアル開催は2019年のみですが、その際の来場者数は600名程度、クラウドファンディングの達成率は140%と聞いています。
その取り組みから、若者の漁業への就労も増加しております。
また、インスタグラムのフォロワーは個人で836名、事業アカウントが247名です。
人口低減は全国各地で課題になっており、国や政治レベルの話にもなるかと思いますが、彼女の活動でいうと、移住者希望者が彼女に相談に来て実際に移住に繋がるなどの成果は出ていると考えています。

(高山敦好)

自分が講演を聞きに行く際に、数値や実績を元に講演会を聞きに行く。
きちんと「どういうことを、どの程度行ってきたのか」を数字で示すことで、聞く側も耳を傾けることに繋がると思います。
個人的には結果がない人の話は聞く気にならないので、その点はしっかりと示してほしいと思います。
続いて質問ですが、講演実績について。実際その人の講演を聞いたことがあるのか。
まちづくり協力隊はどの町にもいます。特別中尾様の講演を聞いて、費用対効果、目的が達成できるのか。

(内海洋平)

講演実績についてですが、講演をする方ではないので、そこまで実績というものはないですが、私自身4年前に彼女の行ったトークショーに拝聴しました。
その後、彼女と実際に色々とお話をさせていただき、実績とも知ることができました。
委員会メンバーと一緒に彼女の話聞いて、「良かった」というお墨付きをもらいました。
講演については大丈夫であると考えています。

(高山敦好)

昨年私自身、講演について勉強し、「講演をする」ということは、要点を抑える必要があったり、色々と抑えるポイントがあったり、非常に難しい、技術の必要な物だと感じました。

そういう点も踏まえて、再度精査してほしいと思います。

5万円の講演料をお支払いされて、委員会が言いたいことをどのくらい達成できるのか教えて下さい。

(内海洋平)

費用の面についてですが、金額が高いというイメージを持たれたということでしょうか。

(高山敦好)

高いということではなく、その費用を払う価値があると判断して選定されていると思うので、費用対効果について考えをお聞かせいただきたいと思います。

会の皆さんから集めたお金を使うので、その効果についてどのようにお考えであるか、お聞かせください。

(内海洋平)

これまでに3度打ち合わせを重ねており、講演資料も摺合せしながら作成しておりますので、費用対効果は十分あると考えています。

(高山敦好)

未来ビジョン委員会の最後の例会で、伝えたいことを会の皆さんに伝えたいということでしたので、対談での打ち合わせも重要かと思います。

自分の伝えたいことがわからずに終わることのないようにしてほしいと思います。

以前、加藤委員長が「食育」について対談された際のことが参考になるかと思いますが、対談とは別でしっかりと自分の意見を言われておりました。

その時の経験からメンバーと話し合い、意見を固めるということが重要だと感じました。是非ご検討いただき、実践していただきたいと思います。

(吉田高正)

5月例会と似ていると感じたのですが、どういう違いがあるのか、ご説明頂きたいと思います。

(内海洋平)

5月例会は「人との繋がり」や、「今後の世の中の変化」に対してお話し頂きました。

第9回理事会 議事録

今回は「まちづくり」や「地域に根付く」ということについてのお話しですので、自分の中では全く別のものだと思っております。

(吉田嵩正)

違いの部分、よりわかりやすく出して頂ければもっと良いかと思えます。

(安楽城大作)

その他、質問等無いようですので、本議案を閉じさせていただきます。

第2号議案 活気溢れるまちづくり事業 事業計画(案) 予算(案)について

(内海洋平)

資料読み上げ(8-1, 8-2)

資料参照(8-4)

予算に関しては、収支予算明細書(案)をご覧ください。

事業費繰入収入として、300,000円。

事業費支出として、

設営費支出として、バルーン、インフレーターレンタルで25,520円。

ヘリウムガスとして149,600円。

バルーン備品として69,654円。

作成費支出として、説明用紙で3,000円。

Tシャツで4,900円。

事業予備費支出として47,326円の、合計300,000円で計上しております。

資料参照(8-5~8-10)

事業概要読み上げ。

当日の様子はライブ配信を行うとともに、録画したものを後日web上でアップしたいと思います。

以上、慎重なる協議をよろしくお願いいたします。

(島田元太)

この事業を考えられたきっかけを説明して頂きたいと思えます。

(内海洋平)

第9回理事会 議事録

この地域の飲食店に通っていた際に、何かこの地域が盛り上がる「きっかけ」がないかという声をいくつか聞く機会があり、何か考えたいと思い、この事業を計画しました。

(山本恭平)

「Show must go on」という素晴らしいタイトルをつけられており事業にかける想いが伝わってきます。

より多くの市民に知ってもらうために、Tシャツを着て歩くというゲリラ的な周知を考えられているということですが、

それに遭遇しなかった人でも、海岸通りを歩いている人に見てもらうために、誘導できるように海岸通りに風船を並べ、商工会議所や、いっとくビルにたどり着き、自然と上を向けるようにすると良いのではないかと思います。

海岸通りにバルーンを設置することは可能でしょうか？

(内海洋平)

委員会内でもそういう意見はでましたが、西側と東側の2か所に多くの光を集めることで、幻想的な空間を演出できるのではないかということになりました。

海岸通りに出れば、どちらかは見えるような高さまで揚げることで、周知活動に遭遇しない人にも届けられればと思います。

(山本恭平)

風船は上空何mくらいまで揚げる予定でしょうか。

(内海洋平)

建物の高さを入れて、約35m程度になると思っています。

(吉田嵩正)

去年のバルーンリリースの時に風船がある程度割れている印象でした。

中のLEDが落ちて怪我に繋がらないでしょうか？

(内海洋平)

何度かテストを行っており、割れた際の想定しております。

割れた場合もLEDが外れないような付け方ができないかテストをしたいと思います。

また、地上に落ちない糸の長さを計算して、人や車に当たらないように考えたいと思います。

(岡本正也)

緊急事態宣言下などで、お店が閉まっている状況でもバルーンを揚げられるとのことですが、その場合の事業実施された後の検証はどのように行うのですか？

(内海洋平)

お店が閉まっていますが、そこで生活をされている人もおりますので、緊急事態宣言下でも実施したいと思います。

そのような場合は、事業後に SNS を検索し、反応を探っていきたいと思います。

(岡本正也)

人が集まってきたらどのように対応するのですか。

例えば誰かが写真を撮って SNS にあげて、のちに問題にならないように配慮してもらえれば、より安心して事業が実施できるのではないかと思います。

意見として参考にしてもらえればと思います。

(島田昌広)

厳しい経営状況の中で「光を見て気持ちを明るくする」という内容が、大人世代にどれほどの需要があるのか懸念しています。

気持ちの面だけでなく、具体的に集客や売りに貢献できる取り組みがあればと思います。

また、年配の経営者の方も多いため、SNS の活用が難しく、理解してもらえないケースもあるかと思います。

幅広い世代が関わってもらえるように、そういった方々へのフォローも必要かと思いますが、いかがでしょうか。

(内海洋平)

お店の方にヒアリングする中で、何もない状況が続いていて何か「きっかけ」を創りたいという中で考えた事業になります。

何か発信できるきっかけを生み出すことで、お店の方がメッセージを出すことで、売上等に繋がればと考えています。

また、年配の方の SNS 利用率ですが、60代でも LINE の利用率は70%近くあるので、そちらでフォローできればと考えています。

(高山敦好)

背景に「尾道海岸通り界限にはそういった業種が集中とあります」が、そのピンポイントを活性化すると尾道が明るくなるのですか。

その事が、未来の尾道にとってどのような効果が望めますか。

(内海洋平)

ピンポイントの場所を選んでいるように見えるかもしれませんが、当日その場所で見
方々だけでなく、SNS等で広がることで、様々な人に見て貰うことが予想されます。
そのことがJCの新たな活動を踏み出したと話題を生んだり、会の活力にもなると信じて
やっています。

(高山敦好)

お店の告知となっていますが、この度のコロナについて飲食店は対策をしていますが、利用
する方によって被害も出ており（遠方の方お断りなど）、足並みがそろわない場合もあり
ます。

各店舗の事を考えた場合、利用する方への利用方法喚起などお願いも付け加えた方が、各
店舗イメージはいいと考えます。

(内海洋平)

「お店に行こう！」というメッセージではなく、海岸通りでこういうことを行っている
ということが発信できればと思っています。

(高山敦好)

この事業は、一般の方はターゲットではないのでしょうか？

(内海洋平)

この周辺の飲食店がターゲットになります。
その上で、当日この周辺にいらっしゃる一般の人に海岸通りへ行って貰うことを想定し、
Tシャツを着てPRしたいと思います。

(高山敦好)

ターゲットの飲食店の方にとっては、「SNSにアップできるネタがある」ということなの
でしょうか。

(内海洋平)

ネタがあるということと、風船を見て頂き、元気を出して欲しいということが一番です。

(高山敦好)

対内への目的がありますが、協力は無しの中で各会員は目的が達成できますか。
会としては、何か協力したいという気持ちがあると思います。

(内海洋平)

その点については委員会メンバーで色々と話し合いました。
会として集まってしまうと、多くの人が集まることになってしまいます。
委員会メンバーだけで事業を行うことで、新しい形で目的を達成できることを示せればと思っています。

(高山敦好)

委員会だけで達成するのではなく、会員全体が達成感を味わえるようにしたほうが良いと思います。そこも話し合って、こういう形になっているのでしょうか。

(内海洋平)

持ち帰り検討し、何か皆さんを巻き込むような形ができないか考えたいと思います。

(高山敦好)

昨年、バルーンリリースとした際にも、風船を膨らませる作業が大変だった記憶があります。
何かできることはあると思いますし、それが体験として残ると思いますので、ご検討頂ければと思います。
SNS を利用している店舗とそうでない店舗とありますが、何店舗の SNS アップを目標としていますか。
目標数値を達成するために、行う行動計画、告知資料も教えてください。

(内海洋平)

Facebook、Instagram、Twitter の中で、一番使用率が高いのが Twitter で、38.5%の方が使用されているというデータがあります。
今回、214件のお店をまわろうと考えていますが、その38.5%の82件を目指したいと思います。

(高山敦好)

82件という数字に対して精査を行って欲しいと思います。
参考になればと思いますが、現在、商店街でHPを作っていますが協力しない人も多い状況です。
その話にはOBの方が携わっているので、話を聞きに行けば参考になるのではないかと思います。

第9回理事会 議事録

花火でないとわざわざ告知されていますが、きれいな夜空を見たいと密集、密接が生まれるか可能性についてはどう考えていますか。見てほしいと集客するのでその警備、事故防止体制を考えていますか。

写真をとる為に、路上駐車、スマホに集中しての事故対策など。

(内海洋平)

告知を行うのが、商店街の店舗様のみに事前に行う予定です。

その際に直接、注意喚起も含めて行おうと思います。

(高山敦好)

べっちゃん祭りと同日開催なので、そこには配慮して、トラブルが起こらないように話し合いを行って貰いたいと思います。

(内海洋平)

べっちゃん祭りの方とは打ち合わせを行う予定です。

(山本恭平)

今年のべっちゃん祭りは、緊急事態宣言が出ていても行うのでしょうか。

(内海洋平)

縮小した形で行うという風に聞いていますが、先ほどの高山副委員長の意見と合わせてヒアリングします。

(小西琢真)

10月例会とリンクする部分はあるのでしょうか。

(内海洋平)

10月例会で「活動していくことの重要性」を伝えたいと思いますので、リンクする部分があると思います。

また、光るバルーンを尾道であげるのはこれまでなかったと思いますので、何かきっかけになればと思います。

(小西琢真)

緊急事態宣言下でも何かできることを新しく考え行動する。

そういった点が10月例会ともリンクするのだという認識でよろしいでしょうか。

(内海洋平)

10月例会での中尾氏の講演は「日々、地域の事を考え行動することの重要性」を学ぶので、その点も含め、こういった状況でもできることを考えて事業を組み立てています。

(安楽城大作)

その他、質問等無いようですので、本議案を閉じさせていただきます。

16. 報告依頼事項：(歌一行)

9月12日にブロック大会が開催されます。

皆様には、全員登録にご協力頂き、ありがとうございました。

会の皆様にはWEBでの視聴になりますので、加度ブロック会長の集大成になりますので、是非ご視聴よろしく願いいたします。

17. 連絡事項：(加藤雄大)

9月20日(月)が次回上程締め切りになります。

また、修正があった資料に関しては、事務局に送って頂くようお願いいたします。

18. 監事講評：

(今岡正英)

皆様、お疲れ様でした。

本日の理事会の審議事項については、感染のリスクがあるという、難しい状況での開催となります。

本日の理事会でのしっかりと質問を受け止めて、準備して頂きたいと思います。

また、協議事項についてですが、10月例会は抽象的なところをもっと具体的にして欲しいと思います。

まちづくり事業に関しては、まちの声をすくい上げて事業にするのということは、必要なことであると思います。

こういう状況ですので、反対意見等も出てくるかとは思いますが、そういった目線も意識して、事業を組み立てて欲しいと思います。

以上、監事講評とさせていただきます。

(高橋建太)

皆様、長時間の理事会、お疲れ様でした。

本日、審議承認となった各事業ですが、理事メンバー全員が参加する理事会において承認されたということですので現段階で、会として事業実施するという決定がされたこととなります。

第9回理事会 議事録

理事の皆様は事業実施するということに自覚と覚悟を持って、冒頭、安楽城理事長がお話しされた事業実施の意義や目的をしっかりとフロアメンバーにも伝えていただいたうえで、尾道JC全体が同じ方向を向いて活動できるようにしていただければと思います。

コロナ禍なので、事業への参加が難しいケースもあると思いますが、当日出席することだけが事業参加ではないので、事前準備だけでもいいですし、情報発信だけでもいいですし、各メンバーの可能な範囲で少しでもいいので事業に携わっていただけるように委員会メンバーにもお声がけいただければと思います。

そういった一つ一つの行動がメンバーの成長、会の成長にも繋がるのではないかと思いますので、宜しくお願い致します。

残り4カ月で2020年度も終わりますが、最後まで後悔の無いようにやり切ってください。

以上、簡単では御座いますが監事講評とさせていただきます。

19.次回開催日の確認：（歌一行）

10月6日（水）19：00より 開催いたします。

開催方法については、後日ご連絡いたします。

20.閉会：（歌一行）

21.点鐘：（安楽城大作）